

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2014年 3月 4日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-101		
会社名	株式会社 中央製作所		
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号		
担当部署	研究開発部		
電話番号	052-821-6196	F A X	052-823-2796
整理番号	S - 1 0 1		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	: 区分外
引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 区分外
金属腐食性物質	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分 5
急性毒性（吸入：粉塵, ミスト）	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2 A

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	: 区分 2, 区分 3（気道刺激性）
-------------------	---------------------

環境に対する有害性

水生毒性（急性）	: 区分外
水生毒性（慢性）	: 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害のおそれ 皮膚刺激 強い眼刺激 血液の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策	: 熱源から遠ざける。 可燃物から遠ざける。 粉じん, ミスト, 蒸気などを吸入しない。 換気の良い場所でのみ使用する。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
------	---

- 適切な保護手袋，保護眼鏡，保護衣，保護面，保護マスクなどを着用する。
 使用後は保護具をよく洗う。
 取扱い後はよく手を洗う。
- 救急処置 : 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
 飲み込んだ場合：口をすすぐ。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
 取り扱った後，手を洗う。
 暴露した場合：医師の処置を受ける。
- 保管 : 可燃物から離して保管する。
 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
 施錠して保管する。
- 廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成，成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名（又は一般名）	硝酸アンモニウム水溶液
成分及び含有量	硝酸アンモニウム 65% 水 35%
化学特性（化学式）	NH_4NO_3 H_2O
官報公示整理番号	1-395（化審法：正式名称「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」）
C A S No.	6484-52-2
毒劇法	非該当
P R T R 法	非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに患者を毛布にくるんで安静にさせ，新鮮な空気のある場所に移す。
 鼻をかませ，うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部または接触部を多量の水で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で 15 分間以上洗い流し，必要に応じて眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水または食塩水を飲ませてはかせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤：水
- 特定の消火方法：硝酸アンモニウム自体は不燃性であるが，周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。
 移動不可能な場所は，容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：必要に応じて保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：皮膚等に付着させないように注意する。

結晶は有機物、いおう，りん等可燃性物質と混合しないようにする。

水溶液の状態では問題ない。

保管：可燃物と隔離して貯蔵する。密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所近くに、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会 設定されていない。

ACGIH 設定されていない。

保護具

手の保護具：必要ならば保護手袋を着用する。

眼の保護具：必要ならば保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体

色：無色

臭い：無臭

pH：6.6

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：100℃

結晶の融点：169℃

引火点：なし 発火点：なし

密度：1.24

溶解性：エタノール，アセトンに可溶である。

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の使用においては安定である。

反応性：還元剤と接触すると反応することがある。

危険有害な分解生成物：火災時の一酸化窒素，二酸化窒素

11. 有害性情報

急性毒性：多量に経口摂取すると、血圧降下、めまい、頭痛等を起こすことがある。

皮膚腐食性：皮膚に対して刺激性がある。

眼に対する刺激性：眼に入ると眼を刺激する。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

発がん性：IARC および NTP のリストに記載されていない。

変異原性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

：血液の障害のおそれ（区分2）

呼吸器への刺激のおそれ（区分3）

ラット経口投与試験でメトヘモグロビン血症が認められたとの記述がある。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露
：データなし
吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：魚類（ニジマス）LC50/96H = 5657mg/L

残留性／分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

13. 廃棄上の注意

測定後の液：アルカリ（10%水酸化ナトリウム等）で中和して、銅を沈殿させた後、水で希釈（銅めっき膜厚 10 μ m の時は 200 倍以上）して排出する。

排水処理装置がある場合には、そのまま酸アルカリ系に排出する。

未使用液：水で希釈(10 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合には、そのまま酸アルカリ系に排出する。

空容器は水洗いした後、産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

国際規制：無し

国連分類：非該当

国内規制：15項

15. 適用法令

消防法：非該当

労働安全衛生法：施行令第 18 条 名称等を通知すべき有害物

船舶安全法：非該当（船舶による危険物の運送基準を定める告示備考 10：SP252）

航空法：非該当

港則法：非該当

16. その他の情報

引用文献

① 化学大辞典 共立出版社（1963）

② Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N. I. Sax 他編
Van Nostrand Reinhold Company(1984)

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。